

お忙しくても、約 2 分間で読めます

ハートフル・ワード (心からの言葉)

山内公認会計士事務所

TEL 098-868-6895

FAX 098-863-1495

経営者への活きた言葉

日本と世界の未来の行方 (その 1)

ジャック・アタリ (1943 年生まれ。わずか 38 歳で、フランスのミッテラン政権の大統領特別補佐官を努め注目を浴びる。政界・経済界で重責を担う一方で、経済学者・思想家・作家として幅広く活躍)

1. 日本には 20 世紀後半に世界の中心勢力となるチャンスがあった。また日本は、しかしながら日本はいまだに「中心都市」とはなりえていない。それには少なくとも三つの理由が考えられる。第一に、並外れた技術的ダイナミズムをもつにもかかわらず、日本は、既存の産業、不動産から生じる超過利得、そして官僚周辺の利益を過剰に保護してきた。また、将来性のある産業、企業の収益・機動力・イノベーション、人間工学に関する産業を犠牲にしてきた。「近代」に対する強い憧れにもかかわらず、日本は、粘り強く官僚の排他的な特権階級制度を修復し、その権力に畏怖しながら、過去の栄華に対するノスタルジーに浸ってきた。
2. 第二に、海運業や海上軍事力などの海上での類まれな覇権力があるにもかかわらず、日本は海洋を掌握することができなかった。また日本はアジアにおいて、平和的な信頼感にあふれた、一体感のある友好的な地域を作り出すことができなかった。第三に、日本はこれまで十分なクリエイター階級（中心都市に集まる才能あふれる人々。彼らが集まる都市は繁栄するが、為政者が彼らを追放すると、中心都市といえども没落する）を育成してこなかった。
3. 現在、多くの危機が日本を脅かしている。日本の合計特殊出生率が 1.3 人のままで推移すると、今から 90 年後には、日本の人口は 6000 万人強にまで減少する。さらに日本は収益性の高い産業を再興できなかった。しかし、日本は、アジアの交差点、アメリカの交差点、オセアニア地域との交差点といったように、この三の円が交わった部分をうまく組織できれば、日本は多大な潜在的成長力をもちうるだろう。

(参考:「21 世紀の歴史」: 作品社)

幹部への活きた言葉

コミュニケーションに尽きる

丹羽宇一郎 (伊藤忠商事会長)

1. 深刻化する雇用問題は、日本のチームプレーの強さを再び見直す良い機会ではないだろうか。もう一度チームを磨き直すことだ。その対策は 3 つある。まずコミュニケーション、2 番目もコミュニケーション、3 番目もコミュニケーションだ。つまりコミュニケーションに尽きる。小さな問題を放っておけば大きく膨らんでしまう。だから、その小さな段階で、話ができるチームのムードをつくっておくべきだ。
2. こうした雰囲気を作るのがリーダーだ。どうしてもチームからはぐれるメンバーが出てくる。それをいかにくい止めるか。1 にも、2 にも、3 にもコミュニケーションだ。チームには正規社員と非正規社員が混在し、国籍などもばらばらになった今では、コミュニケーション不足は不祥事を招きやすくなるだけでなく、その部門の競争力さえも損ないかねない。

(参考:「日経ビジネス」: 2009 年 3 月 9 日号)

海外事情

中国経済の優位性

1. 中国の 1~3 月期の実質 GDP (国内総生産) は前年同期比プラス 6.1% に減速したが、4 月~6 月期以降、回復傾向をたどると予想し、中国政府が目標に掲げる 8% の実質経済成長率は十分達成可能と考えられる。昨年 11 月以降、4 兆元 (約 58 兆円) の景気対策をはじめとして矢継ぎ早に内需刺激策を打ち出した中国は、早くもその効果が顕在化し始めている。
2. 中国経済の優位性が鮮明になった理由としては、景気対策のスピードの速さと規模の大きさ、財政の健全性及び金融危機による金融システムへの影響が比較的小さかった点が挙げられる。新車販売台数も小型車を対象に購入税減税が実施された 2 月以降、改善傾向にあり、3 月は 111 万台と月間販売台数が世界一となった。

(参考:「野村週報」2009 年 5 月 4・11 日号)

古典に学ぶ

卒業後の指導

「卒業後の指導として、一番根本的な指導は、何と言っても、有志の青年たちの読書会を設けることでしょう。というのも、もし読書会が真に正しく行われたならば、たとえその人が他に転任したとしても、それは会員相互の輪読会となって永く持続するのが常であります」 (参考: 森信三「修身教授録抄」: 致知出版社)